|  |
| --- |
| **BMFSA学会抄録の書き方とテンプレート**  **（注:原稿は2ページか4ページでお願いします．また，奨励賞エントリーの方は4ページです．）** |
| Template of Japanese Journal of BMFSA and the Manual of Writing |
| **倍尾 太郎１，稗武 一郎2，藤 花子3** |
| １）倍尾大学医学部  ２）東都医科大学  ３）稲実大学大学院工学研究科 |
| Taro BAIO1, Ichiro BIEMU2 and Hanako FUJI3 |
| Faculty of Medicine, Baio UniversityToto Medical UniversityGraduate School of Engineering, Inami University |
| ***Abstract:*** *この部分に英文要旨を書いてください（フォントはTimes New Roman，斜体）．* |
| ***Keywords:*** *この部分に英キーワードを５つほど書いてください．* |
| *Taro BAIO*  *1-1, Chiyoda,Chiyoda-ku,Tokyo 100-0001,Japan*  *Tel: 03-6000-7988, E-mail: bmfsa@example.com* |

**1. はじめに**

この文書は，Microsoft Word® （以下，MS-WordないしWord）用の簡単なテンプレートになっています．この書式にしたがって発表予稿論文の原稿を御作成ください．また，この文書のページ設定や書式は変更しないでください．

発表者は，期日までにWord原稿を電子メールにて大会事務局までお送りください．プログラム委員会（大会事務局）にて編集した上で予稿集として発行いたします．また，投稿が期日までに間に合わなかった論文は最終的に予稿集から削除されることもありますので，御承知おきくださいますようお願いします．

**2. 特に注意する点**

**2.1 式について**

式の記述に際しては以下の点に注意して下さい．

**2.1.1 式の段組について**

文は2段組・44行で構成してください．2段組で表記し難い長い式などは，1段組で表しても結構です．その場合は，続きがわかるようにして下さい．

**2.1.2 式の表記について**

式は，鮮明でわかりやすい表記となるよう心がけてください．Wordの数式エディタ等で式をきれいに組版していただくことが望ましいです. TeXで式を版組した場合には，bmp形式等の画像ファイルにして貼りこむか，式を印刷したものをスキャナで取り込み， jpgファイルとして貼りこむ方法などがあります．Jpg形式による貼り込みの例は以下の通りです．

eq

**2.2 表について**

2段組で表記し難い大きな表は，1段組で表しても結構です．見にくい表にならないよう配慮してください．表のタイトルは表の上に記載してください．

**2.3 図について**

図は文字等が鮮明に見やすいサイズを考えて記載してください．2段組で表記し難い大きな図などは，1段組で表しても結構です．図の脚注については，図の下に記載してください．

|  |
| --- |
| 図のつもりです |

図１ 例を示した図．これは例です．

**2.4 写真について**

写真はjpgで貼り付けてください．写真は，デジカメで撮影するか，写真をスキャナで取り込み，貼り付けてください．

**2.5 文字について**

　文字サイズ・フォントは以下のルールに従って下さい．

１）日本語タイトルは，

ＭＳ 明朝，16ポイント，ボールド

２）著者名は，

ＭＳ 明朝、12ポイント，ボールド

３）所属，要約，キーワードは，

ＭＳ明朝，10.5ポイント

４）英語タイトルは，

Times New Roman，14ポイント，ボールド

５）英語著者名は，

Times New Roman，12ポイント

６）英語の所属，要約，キーワードは，

Times New Romanのイタリック，10.5ポ

７）本文は，

ＭＳ明朝，10.5ポイント

８）章名は，

ＭＳ明朝，12ポイント，ボールド，左寄せ

９）参考文献は，後述の様式で列挙してください．

以上の書き方に統一していただくと，全体として高品位の予稿集になります．ぜひ，皆さんのご協力をお願いします．

**参考文献**

できるだけ，BMFSA学会誌の過去の論文を引用してください．

[1] authors: title, title of magazine (book)，Vol. \* , No. \*, pp. \* -\*, year.

[2] 著者名： 表題, 雑誌名（書名）, 巻号, pp. 始め頁-終わり頁, 年.

以下は例です。

[1] Shirahama, N., Yanaru, T., Yoshida, K. and Nagamatsu, M.: “A Basic Concept of Human Cognitive Model Based on Subjective Observation”, Biomedical Fuzzy and Human Sciences, Vol.2, No.1, pp.37-44, 1996.

[2] 中野正博： 看護・保健・医療のための楽しい統計学, へリシティ出版（神戸）, pp.1- 202, 2004.